

For Discussion Purpose Only

世界が進むチカラになる。

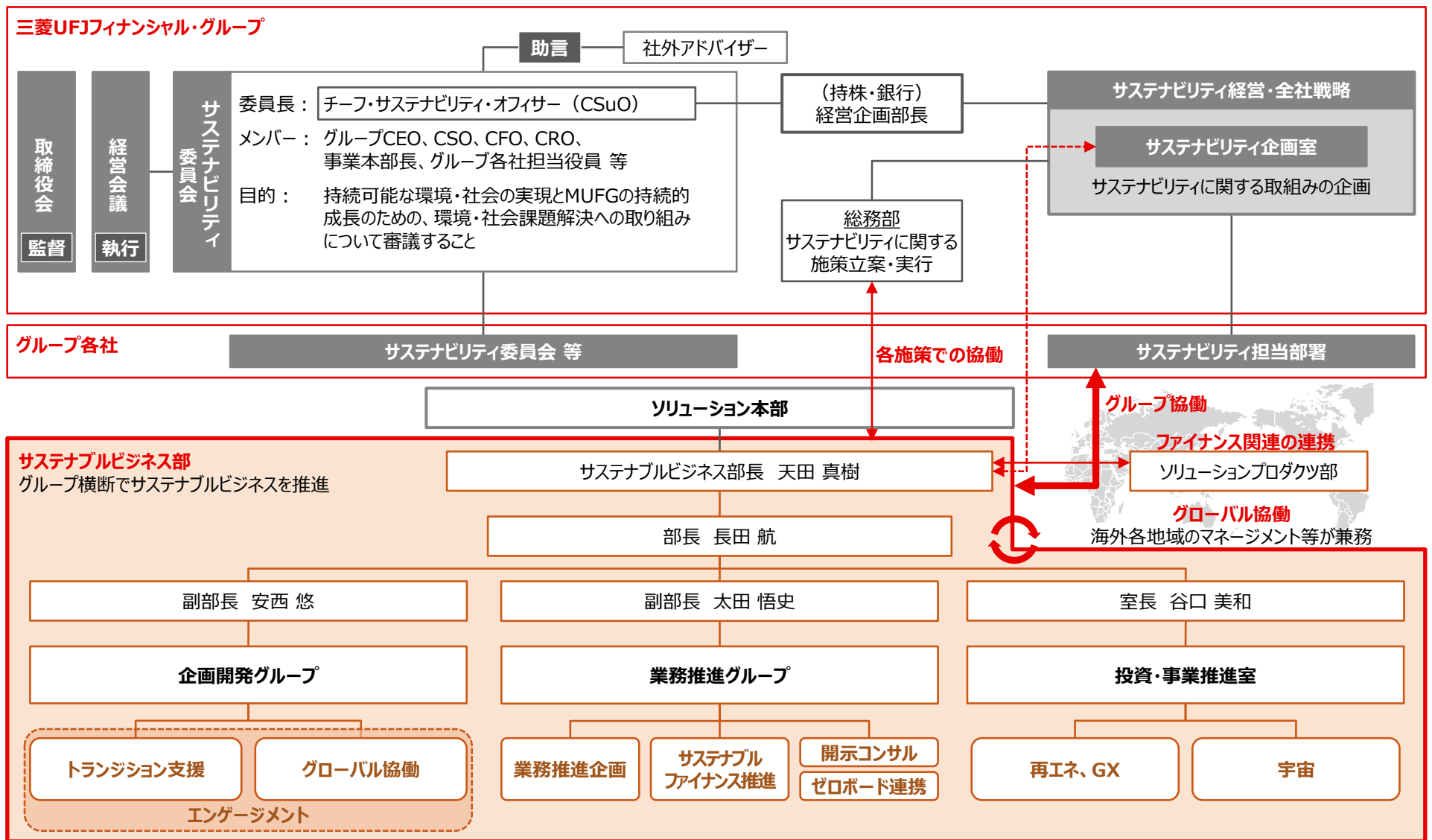


コーポレートPPAとMUFG取組について

2025年3月12日
サステナブルビジネス部

三菱UFJ銀行

MUFGにおけるサステナブルビジネス推進体制



MUFGカーボンニュートラル宣言（2021年5月17日）

- 「投融資ポートフォリオの温室効果ガス（GHG）排出量¹ネットゼロ」の達成、「2030年までの自社自らのGHG排出量²ネットゼロ」の達成を目指す

実現に向けた主な取り組み

1 ファイナンスを通じた脱炭素化実現

- サステナブルファイナンス目標設定：100兆円（内環境50兆円）
- ファイナンスポリシーの継続的な見直し
- 石炭火力発電関連のコーポレート与信残高の将来目標の開示³
- 再生可能エネルギー、水素・次世代エネルギー等支援

2 自社独自で進める脱炭素化

- 2021年度に国内拠点⁴の自社契約電力を100%再エネ化
- カーボンオフセット（植林等）

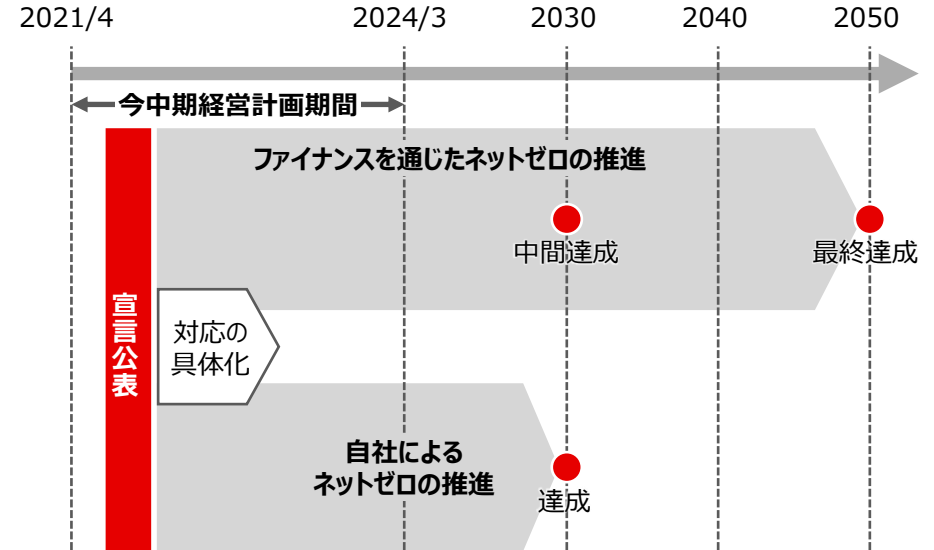
3 バリ協定に整合的な目標設定と情報開示の拡充・透明性向上

- SBT⁵等の科学的手法を活用したパリ協定と整合的な目標設定
- TCFD開示の拡充（シナリオ分析の対象セクター拡大等）

4 カーボンニュートラル実現を支える体制の強化

- 「MUFG環境方針」を取締役会で決定
- 役員報酬へのESG要素の反映

「MUFGカーボンニュートラル宣言」実現に向けたロードマップ



本邦初 Net-Zero Banking Alliance⁶への参加

- 2050年までの投融資ポートフォリオのGHG排出量ネットゼロの実現
- 目標に対する進捗の年次報告

(注) 1. GHGプロトコルにおけるScope3
2. GHGプロトコルにおけるScope1およびScope2
3. 事業に占める石炭火力発電の比率が高いお客さま向けコーポレート与信の残高目標を開示する方針。石炭火力発電向けプロジェクトファイナンス残高は削減目標（2030年度に2019年度比半減、2040年度ゼロ）を設定し推進
4. 銀行・信託・証券
5. Science Based Targets
6. 国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が2021年4月に設立した、2050年までに投融資ポートフォリオのGHG排出量ネットゼロにコミットする銀行のイニシアティブ

MUFGの自社GHG排出量の推移

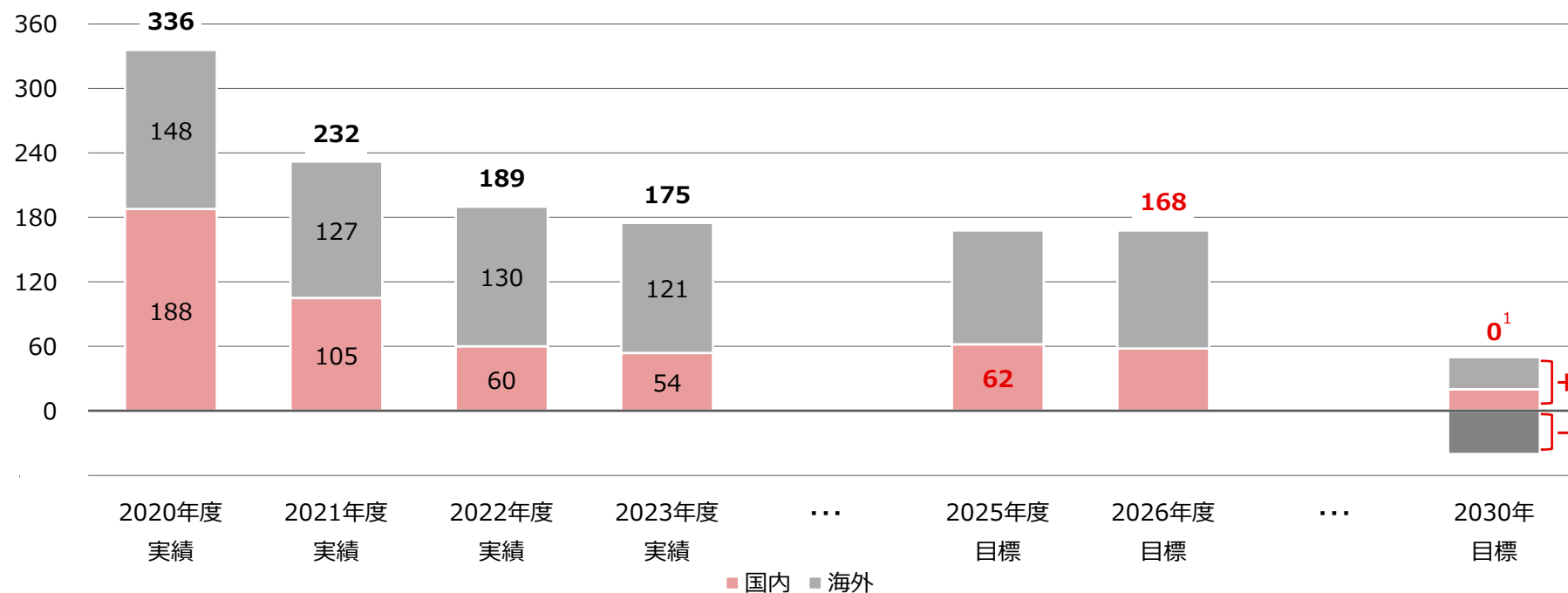
- MUFGは、地球温暖化の防止に貢献するため、2030年までに当社自らの温室効果ガス(GHG)排出量¹のネットゼロをめざし、省エネルギー(省エネ)の取り組みに加え、使用電力の再生可能エネルギー化、営業車の電気自動車(EV)への切り替え等を取り組み。以下、中間目標を設定

<中間目標>

- 2025年度：国内GHG排出量を2020年度比で3分の2削減
- 2026年度：グループ・グローバルGHG排出量を2020年度比で50%削減

Scope1・2削減ロードマップ^o

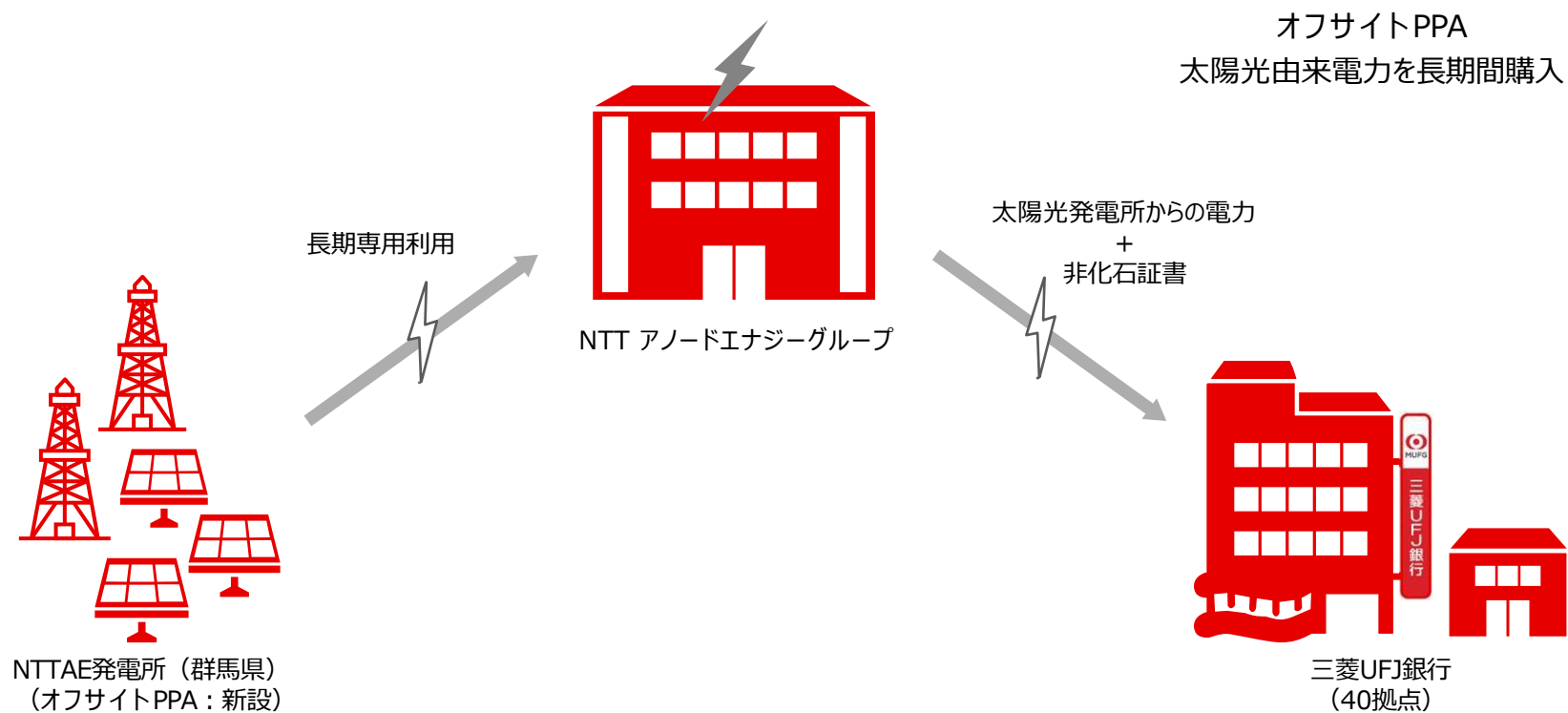
(千tCO₂e)



オフサイトPPAの事例①

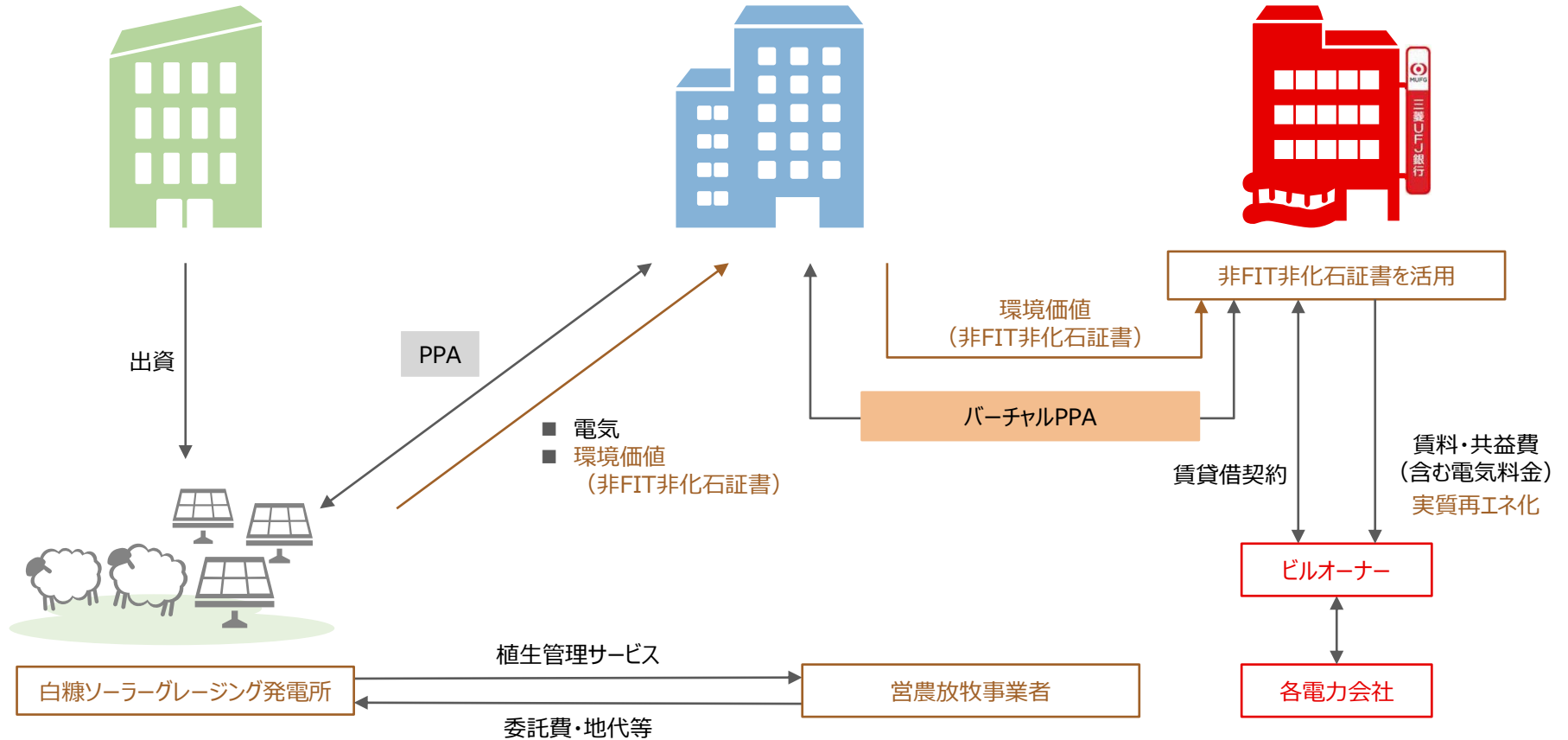
- 銀行はNTTアノードエナジー株式会社とオフサイトコーポレートPPAサービスに関する契約を締結し、群馬県に新設した約2,000kWの太陽光発電所で発電した電力を、東日本の40拠点に導入

オフサイトコーポレートPPA概要



オフサイトPPAの事例②

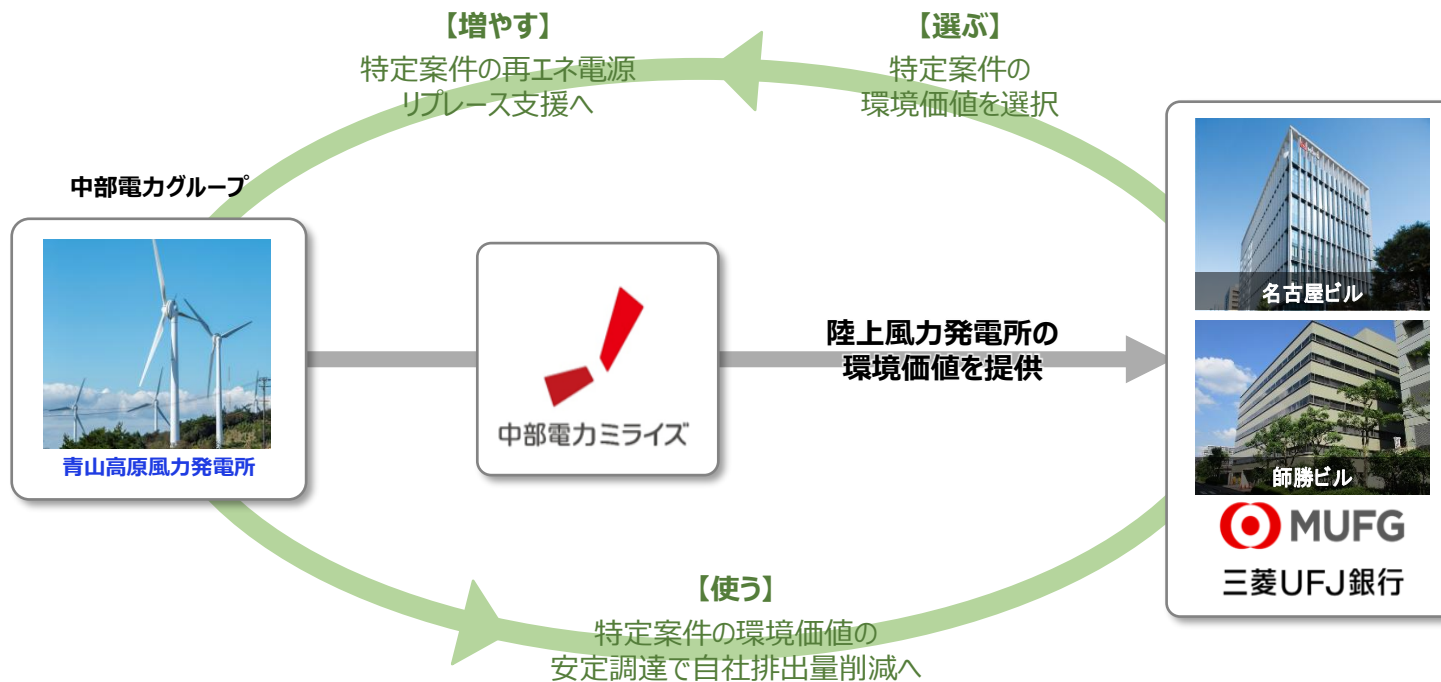
- 日本の再エネ拡大導入と地域貢献を目指し、営農型太陽光からの電力について、バーチャルPPAでの環境価値の購入をする取り組みを実施予定



オフサイトPPAの事例③

- 太陽光に加え、風力発電所についても、バーチャルPPAでの環境価値の購入をするサービス契約を締結

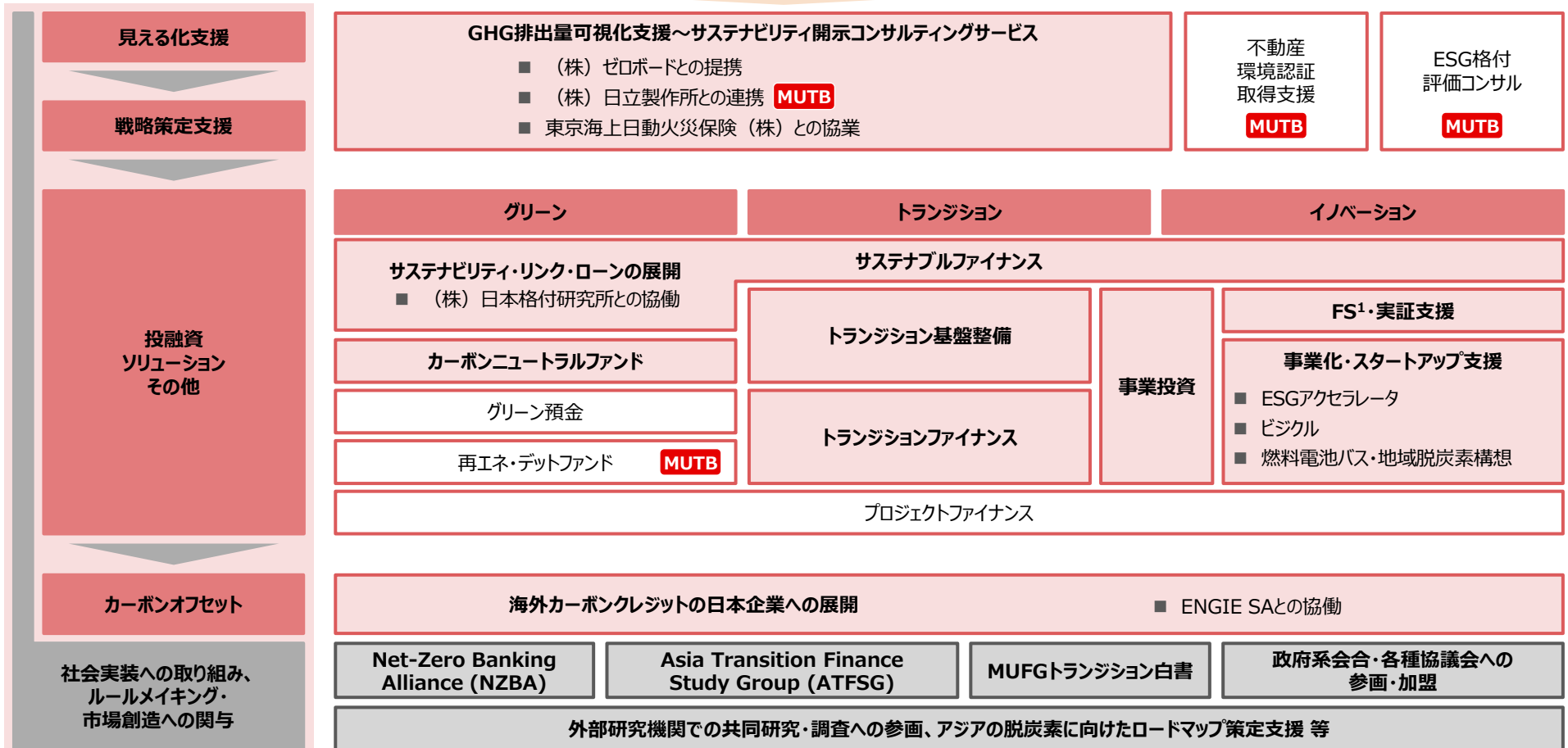
【本取り組みのスキーム図】



お客さまのCNに向けた支援・ソリューション提供

- エンゲージメントを通して把握したお客さまの課題・ニーズ解決のため、多様なソリューションを開発・提供。エンゲージメント促進のため、グリーン市場の創造に向けたルールメイキングにも積極的に関与

エンゲージメント活動 = 日系・非日系のお客さまとの対話

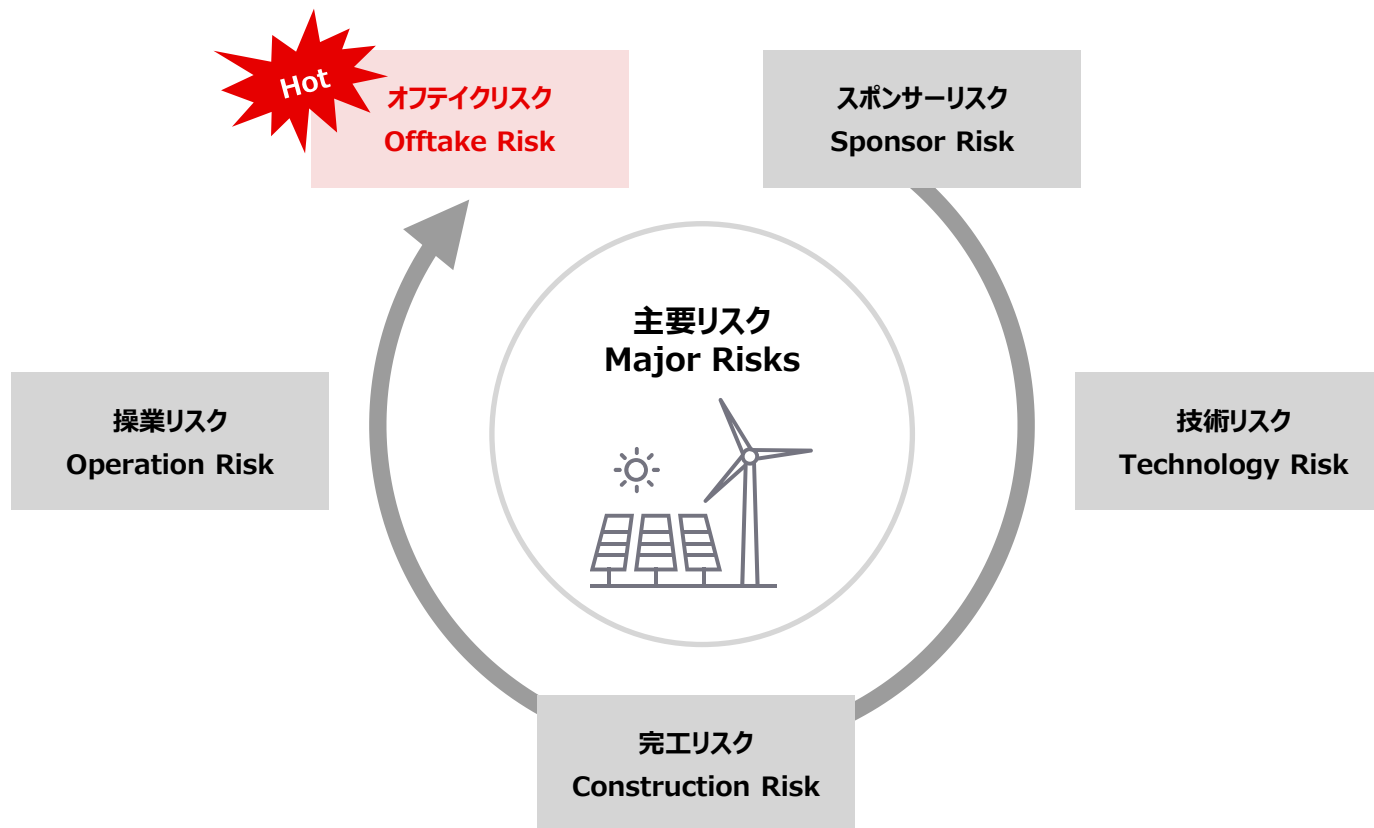


□ は、当社が所管する業務

(注) 1. Feasibility Studyの略

プロジェクトファイナンスレンダーのリスク整理の基本的枠組み

- FIP転やコーポレートPPAが増えていく中、金融機関において、オフテイクリスクが案件組成上注目される傾向

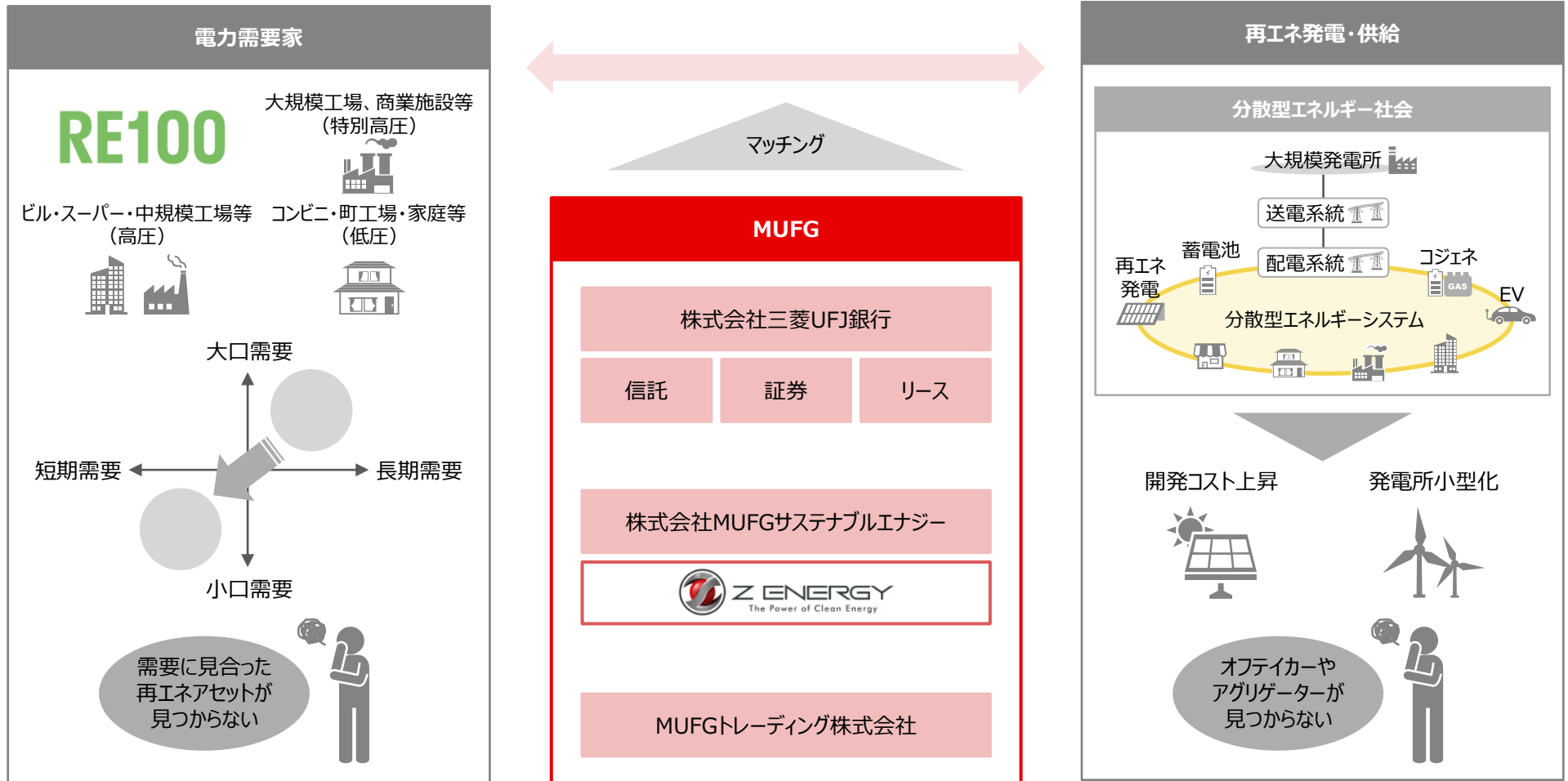


弊行の考える課題（コーポレートPPAについて）

主要なリスク				
リスク項目	リスク内容	想定される類型		
		オンサイト	オフサイト	バーチャル
完工リスク	<ul style="list-style-type: none"> ■ 発電所建設リスク <ul style="list-style-type: none"> ● 需要家の電力ニーズに従ったスケジュール、発電性能が確保できない 	●	●	●
原料リスク	■ 発電量減少リスク需要家による建造物新設や植栽 等	●	—	—
	■ 発電量予測をいかに行うか：サイト毎の詳細予測ができないケース	●	●	●
操業リスク	■ インバランスの発生リスク：調整請負業者の実績、妥当性、代替性	—	●	●
	■ メンテナンスをいかに行うか	●	●	●
オフテイクリスク	■ オフテイク倒産リスク	●	●	●
	■ 中途解約リスク	●	●	●
	■ 小売電気事業者の事業廃止、倒産等のリスク	—	●	●
マーケットリスク	<ul style="list-style-type: none"> ■ 需要減少リスク <ul style="list-style-type: none"> ● 需要家の事情で一時的／恒久的に需要が減少するリスク ● 事業廃止リスク、不可抗力、法令等変更による需要減少・消滅リスク 	●	●	●
	■ オフテイク契約上の価格変更リスク	●	●	●
キャッシュフローリスク	■ インバランス料金発生リスク	—	●	●
	■ 託送料金のインパクト	—	●	●
	■ 電力価格変動リスク	●	●	●
制度リスク	■ 関係者の必要な許認可の維持：小売りライセンス、JPExライセンス 等	—	●	●
第三者クレームリスク	■ 近隣住民等第三者からクレーム発生リスク：需要家起因のクレーム	●	—	—

再エネの需要と供給のマッチングの必要性

- 電力需要の期間や規模の多様化、発電規模の小型化により、需給間のマッチング、アグリゲーション機能が今後の再エネ開発の鍵となってくる



再エネにおける需要家側の課題へのご支援

計画策定支援/開示コンサルチーム及び三菱UFJリサーチ&コンサルティング連携

非化石証書や電力会社の再エネメニューだけでいいのか

サプライヤーや社長から再エネといわれるがどこから手をつけようか

再エネ調達は継続的にできるだろうか、コストは？量は？



取引先

②再エネ導入 ポートフォリオの検討

省エネ・再エネ・クレジット等の
バランスを検討



③再エネ導入プランの策定

CN目標と照らし、導入
スケジュールを検討



①消費電力の分析

拠点毎の消費電力を
把握・見える化



見える化支援/ゼロボード他

④再エネ導入

導入プランに合致する電源の
紹介・開発



紹介/取引先、Zエナジー、MUFGサステナブルエナジー

世界が進むチカラになる。

変化の速い時代、全てのステークホルダーが課題を乗り越え、
持続可能な未来、新たなステージへと進もうとしています。
その思いを叶えるチカラになること、そのために全力を尽くすこと。

これが未来に向けて変わらない
MUFGの存在意義です。

ディスクレームー

本プレゼンテーションにより、貴社と株式会社三菱UFJ銀行の間には何ら委任その他の契約関係が発生するものではなく、弊行が一切法的な義務・責任を負うものではありません。

本資料は信頼できると考えられる各種データに基づいて作成されていますが、弊行はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示したすべての内容は、弊行の現時点での判断を示しているに過ぎません。また、本資料に関連して生じた一切の損害については、弊行は責任を負いません。その他専門的知識に係る問題については、必ず貴社の弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談の上ご確認下さい。

株式会社三菱UFJ銀行と三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社は別法人です。本資料は三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が提供する商品・サービスについて説明するものではありません。また、株式会社三菱UFJ銀行の役職員は三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が提供する商品・サービスの勧誘行為をすることはできません。

本資料は弊行の著作物であり、著作権法により保護されております。弊行の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

Copyright 2024 MUFG Bank, Ltd. All rights reserved.

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング

株式会社 三菱UFJ銀行 サステナブルビジネス部

当行が契約している指定紛争解決機関 一般社団法人 全国銀行協会連絡先

全国銀行協会相談室

- 電話番号：0570-017109 または 03-5252-3772
- 受付時間：月～金曜日9:00～17:00（祝日、12/31～1/3等を除く）

株式会社 三菱UFJ銀行

サステナブルビジネス部

〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング

www.mufg.jp

